

インフルエンザ

一問一答

みんなで知って、みんなで注意！

はじめに

インフルエンザの感染力は非常に強く、日本では毎年約1千万人、約10人に1人が感染しています。

インフルエンザから、**皆さん、一人ひとりを守るためには**、まず、インフルエンザそのものを良く知ることが必要です。

それでは、あなたが日頃抱いている **インフルエンザへの10の質問にお答えします。**



はるな薬局

栗生外院店

〒562-0025 箕面市栗生外院 1-11-21
TEL: 072-749-3531 FAX: 0120-87-3532



厚生労働省健康局 結核感染症課

Q8. インフルエンザはどうやって治すの？

インフルエンザの治療には、抗インフルエンザウイルス薬というものがあります。

- ・薬は医師が必要と認める場合にのみ処方されますので、処方されたら指示に従って服用してください。
- ・症状がある間は水分の摂取も必要です。汗をかいたときや脱水症状の予防のためにもこまめに水分を補給しましょう。

Q9. インフルエンザにかかったとき、特に気をつけることは？

「他の人にうつさない」ことが大事です。

同居する他の家族、特に重症になりやすいお年寄りなどにはなるべく接触しないよう心がけ、患者さんはできるだけ他の家族と離れて静養しましょう。

- ・感染予防のため、1時間に1回程度、短時間でも、部屋の換気を心がけましょう。
- ・せきが出るときは、患者さんはマスクをつけましょう。
- ・家族が患者さんと接するときには念のためマスクを着用し、お世話の後は、こまめに手を洗いましょう。
- ・熱が下がったあとも、2日程度は他の人にうつす可能性があります。熱が下がって症状が治まっても、2日ほど学校に行かないようにし、自宅療養することが望ましいでしょう。
- ・しかしインフルエンザの感染力はとても強く、このような対策を行っていても家庭内の誰かにうつってしまうことがあります。
家族の一人ひとりがインフルエンザ対策に取り組むことが大切です

Q10. せきエチケットってどういうこと？

「せきやくしゃみをするときは、飛沫に病原体を含んでいるかもしれないので、気をつけましょう」ということです。

- ・せきやくしゃみをするときは他の人から顔をそらせましょう。
- ・ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。
- ・せき、くしゃみが出ている間はマスク着用が推奨されています。



正しいマスク装着方法

- 鼻と口の両方を確実に覆います。
- ゴムひもを耳にかけます。
- フィットするように調節します。



効果のないマスク装着の例

- ×鼻の部分に隙間がある。
- ×あごが大きく出ている。